



済生会熊本福祉センター通信

理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

- 基本方針
- ・利用者主体の福祉を実践します。
 - ・ライフステージに応じた自立を支援します。
 - ・地域社会とつながり共に生きる未来をめざします。

就労継続支援A型・B型 済生会かがやき	児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型・生活介護 済生会ほほえみ	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園
就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ	相談支援 済生会熊本福祉相談支援センター
共同生活援助 済生会グループホーム事業所	熊本県地域生活定着支援センター



副管理者
田中 仁知
(済生会ウイズ・食品部門)

済生会熊本福祉センター退職に際して

先般、業務の引継ぎのため食品の担当支援員と取引先に伺うと、先方の担当者とQRコードでライン交換をして、今後はラインで連絡を行なう事を相互で確認していました。

私は20代の頃、営業で外回りをしていました。ポケベルが唯一のツールで、公衆電話から取引先への連絡入れをするのが常であり、当時の営業活動にはポケベルが必需品でした。

現在では進化した情報ツールが溢れる時代となり、効率的で正確な情報共有に役立てられています。最終的には相手との、公平で良好な繋がりを持つことが重要ではないかと思います。

皆様方には、これからも相手や周囲の方々に配慮や思いやりを持って接して頂けることを願います。



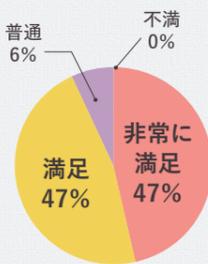
済生会熊本福祉センター 利用者(児)満足度調査集計結果

— 2024年度 —

回答にご協力下さった皆様ありがとうございました。
調査内容としては、◎施設の雰囲気や環境・安全管理について ◎職員の態度・対応について ◎行事活動について ◎給与や工賃等になります。各項目への回答と多くのご意見・ご要望をいただきました。以下のグラフは各事業所の総合評価の結果です。

済生会かがやき

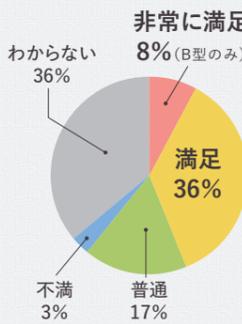
30名回答



今年度も、昨年までの満足度調査アンケートとの内容を踏襲する形でアンケートを実施しました。回答者については、A型11名、B型19名の計30名の方が回答されました。全体評価は「非常に満足」「満足」合わせて94%となり、前年度と比較し8%増加しております。「不満」に関しては昨年度に引き続き、0%という結果でした。施設全体に関する項目で、A、B型利用者合同レクリエーションのご意見を頂きました。昨年度までは春・秋で行っていたレクリエーションを1つにまとめ、日帰り旅行という形で敢行しました。コロナ禍を経て県外への旅行を今年度も実施でき、楽しかったというご意見を頂きました。今後も職員同士協力しながら日帰り旅行を計画していきたいと考えます。また、各個人の経験を踏まえた上で、「あなたが相談したい事や分からないことに関して、どのくらいで対応してくれますか?」という質問については「半日中」「1日以内」に対応しているという回答を97%の方にいただきました。職員全員日々の中で利用者の方をよく見て状況を共有し、個人を尊重し、支援をしている様子が分かる内容となりました。今回の結果よりも、さらに良いかがやきになるよう、職員一丸となって頑張っていきます。

済生会ほほえみ

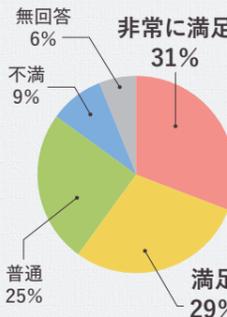
36名回答



「不満」回答の理由にはB型利用者の「自分の目標からすると不満」と自分の目標と向き合った前向きな意見もありました。ほほえみでは今年度、B型利用者玄関を変更した経緯があり、環境に関して「靴箱が前のほうが良い」という意見が複数ありました。どのような点が良くないと思われるかを把握し、改善につなげたいと思います。生活介護の特徴として、30%以上の方が「わからない(又は不明)」との回答になります。明らかな回答があった数での割合を出すと、約80%は「満足」という結果です。生活介護では、環境に関して「寒い時がある」との意見がありましたが、換気の為に窓を開ける事も影響しているようで、重ねての説明や細目な室温の確認が必要と感じました。

済生会ウイズ

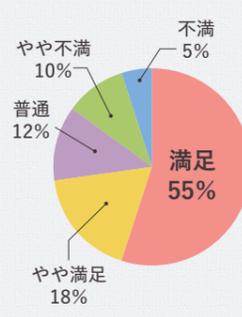
55名回答



今年度は、昨年までの満足度調査アンケートとは、内容を変更してアンケートを実施しました。回答者については、A型34名、B型21名の計55名の方が回答されました。利用者同士のトラブルが意見に反映している面もありますが、職員が日々の利用者とのコミュニケーションを大事にし、個々に合った支援が必要であると思いました。今回も外出・外食の意見が多く見られました。これからも利用者の要望に沿うことが出来るように心がけていきます。今回の結果よりも、さらに良いウイズになるよう、職員一丸となって頑張っていきます。

済生会グループホーム事業所

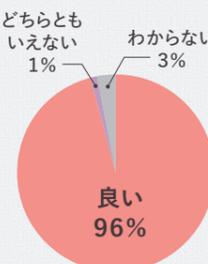
77名回答



在籍者81名中、うちだ1番館・2番館27名、さいせい並建I~V番館27名、その他の地域のホーム23名の合計77名(回答率95%)の皆さんより回答を頂きました。グループホーム全体の評価では、満足が55%、やや満足が18%、普通が12%、やや不満が10%、不満が5%という結果となりました。満足していると評価の中には、職員の対応について、「いつも親しみを込めて接してくれる」という意見がある一方、うちだ1番館・2番館以外のホームでは「相談後の回答が遅くなる事がある」等の声もあり、支援者と利用者間のコミュニケーション不足の解決を図ってほしいと思います。また、「施設内の設備について」改善を求める声も散見され、優先度を考えながら整備をしていくことにしています。今後も利用者の皆さんの声を聞き、安心して過ごせる生活環境を整えていきます。

済生会なでしこ園

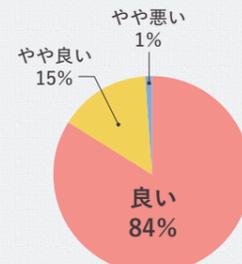
32名回答



2024年度から、児童発達支援事業に加え、保育所等訪問事業についても「自己評価」「保護者評価」「訪問先施設評価」を行うことが義務付けられました。掲載している円グラフは児童発達支援事業に係る保護者評価を表したものです。概ね高い評価で、感謝の意を多くいただきましたが、「親子通園なので、まだ避難訓練に参加したことがない」とどのような支援をされているのかあまり見ることがない」といった御意見もいただきました。これについては、早速取組の中で改善を図っているところです。また、保育所等訪問事業については、子ども理解や対応法等に関する訪問先との情報共有に関して、訪問先からは「新たな気づきがあった」「より深い理解に繋がる」などの御意見がありました。さらに、「園で取り入れやすい具体的な方法を教えてもらいたい」とい御要望もありました。支援ニーズに応えられるよう、支援内容の充実や訪問支援員の質の向上に努めていきたいと思えます。

済生会しらふじ子ども園

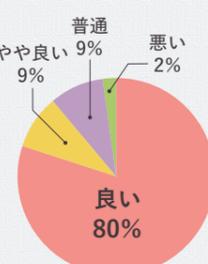
112家庭回答



2024年度は、154家庭のうち112家庭回答して頂きました。「良い」「やや良い」の合計が99%という結果でした。ICTを活用して「利用者満足度調査」を行っていますが、昨年度より回答数が下回っています。回答への呼びかけが足りていなかった結果だと思えます。満足度調査の結果としましては、日常保育の様子をコドモンの「保育ドキュメンテーション」機能を使って配信する事で、保護者の方々に子どもたちの様子を知って頂けることがこのような結果に繋がっていると思えます。今後も保護者の方々とコミュニケーションを図りながら、園での様子をお伝えしていきたいと思えます。

済生会熊本福祉相談支援センター

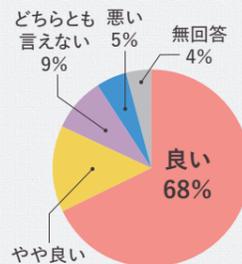
54名回答



利用者424名の中から100名(無作為抽出)の方を対象に、2024年10月1日から10月15日にかけて、郵送とオンラインを併用してアンケート調査を行い、54名の方から回答いただきました。総合評価では「良い」「やや良い」が89%を占め、「普通」が9%、「悪い」は2%の結果になりました。「分かりやすい説明」や「話しやすさ」が9割と良い評価をいただきましたが、「素早い対応」「情報提供」は83~87%にとどまっています。自由記載では「いつも個性に合わせた丁寧な対応をしていただいていると思います」「子どもの就学についての情報がもう少し欲しいです」など、多くのご意見をいただきました。今後も利用者さんやご家族の想いに寄り添いながら、またご相談ニーズや内容に合わせた相談支援を行えるよう、質の向上に努めていきたいと思えます!ありがとうございました。

熊本県地域生活定着支援センター

22名回答



今年度も、昨年度に引き続き利用者満足度調査を実施しました。44名の方に調査票を送付し、22名の方から回答をいただきました。「定着支援センターをどう思うか?」という質問に対して、約80%の方が「良い」「やや良い」と回答しています。これは昨年度の結果とほぼ変わっていません。また、今回の調査を通して、職員の言葉遣いなどに対するご指摘を頂きました。今後、対象者のみなさまに対する態度や言葉遣いに注意しながら、今回の調査結果をもとにより良い支援につなげていきたいと思えます。

済生会かがやき

社会適用プログラム

(企業見学:アスクメンテナンス㈱)

就労継続支援A型の従業員に毎月、定期的に社会適用プログラムを実施しております。内容として、ビジネスマナーやPC操作・資材管理・機材メンテナンスなどです。3月は、同じく病院内の清掃をされている『アスクメンテナンス㈱』様にご協力を頂き、A型従業員向けの勉強会をしていただきました。勉強会では、病棟エリアのスタッフ仮眠スペースのベットメイキングについて、見学・体験をさせていただきました。こんなに企業と連携をして福祉を行なえる事業所は少ないと思います。毎回、協力をして頂ける企業様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も企業と連携をし、A型従業員の一般就労に向けた支援をしていきたいと思ひます。



済生会ほほえみ

春のレクリエーション

●日時:3月22日(土) ●場所:観光農園 吉次園



3/22(土)、済生会ほほえみの春のレクリエーションは植木町にあります「観光農園 吉次園」へいちご狩りに行ってきました！ほほえみで大人気の春レクイベントでしたがコロナ禍もありしばらく中止しており、久しぶりの「いちご狩り」となりました。当日は晴天に恵まれ絶好のいちご狩り日和でした。「いちごは苦手…」と言っていた方も一口にすると「おいしい!!」ともぎたて果実に魅了され、次々と食べられていました。さがほのか、ひのしずく、スターナイト等、食べ比べを楽しみました。皆さん、大満足の1日となりました(*^-^*)

済生会ウイズ

熊本中央ライオンズクラブ杯 パラエキデン大会

●日時:2月22日(土)
●場所:県民運動公園えがお健康スタジアム

2月22日(土)に県民運動公園えがお健康スタジアムで第25回熊本中央ライオンズクラブ杯パラエキデン大会が開催されました。ウイズからは3名の利用者が参加され一生懸命に練習を重ねて来られました。大会では惜しくも賞を逃しましたが、最後まで全力で走り切り、「来年も頑張ろう!」と来年に向け意気込みを語っていらっしゃいました。



済生会グループホーム

グループホームの 避難訓練

●日時:3月28日(金) ●場所:並建ホーム

3月28日に済生会グループホームの並建I番館～V番館に入所されている利用者さんを対象に消防訓練を実施しました。グループホームの消防訓練については、14のホームを3つにグループ分けしてそれぞれ年2回実施しています。各居室で過ごされている時に、突然火災発生という状況でしたが、スタッフの誘導に従い皆さん落ち着いて真剣な表情で避難されていました。その後反省会にて改めて避難時の注意事項や避難場所の確認を行い訓練を終了しました。今後も練度を高め、安心して暮らせる住まいにしたいと思ひます。



済生会なでしこ園

パン作り体験

●日時:1月11日(土) ●場所:済生会ウイズ食堂

1月11日(土)、なでしこ園の併行通園クラス(こあらぐるーぶ)では、済生会ほほえみの「パン工房ふわり」さんにご協力いただき、親子でパン作り体験を行いました。活動前から待ちきれずにそわそわしている様子がかわいらしい子どもたち。「自分の好きな形のパンを作る」ということで、みなさん思い思いの形のパンを作っています。もちもちの生地で思ったような形にならない…と悩む姿も見られましたが、一生懸命手を動かしていましたよ。アンパンマン、恐竜、キティちゃん……できあがったパンの形は個性豊か!パンを受け取る子どもたちの笑顔からは喜びがあふれていました。



みんな笑顔でパン作り夢中!!

済生会しらふじ子ども園

お別れ遠足

●日時:3月5日(水) ●場所:熊本市動植物園

3月5日(水)にらいおん組(年長児)さんのお別れ遠足で、熊本市動植物園に行きました。異年齢で手を繋ぎ、小さいお友だちに「こっちに行くよ」と優しい言葉をかけながら、ゆっくり一緒に歩きました。子どもたちが大好きなライオン・キリン・ゾウなどの所に着くと、「かっこいいね!」や「大きいね!」など、とても嬉しそうでした。お昼には、お家の方に作ってもらったお弁当を広げて、青空の下で美味しく食べていた子どもたちです!らいおん組のお友だち、今まで一緒に沢山遊んでくれてありがとう!



熊本県地域生活
定着支援センター

出前講座

●日時:3月14日(金)
●場所:飽田まちづくりセンター

地域生活定着支援センターでは、3月14日にささえりあ飽田主催の連絡会にて出前講座を行いました。地域のケアマネージャー10名の方にご参加いただき、地域生活定着支援センターが担っている役割についてお話させていただきました。参加された方のほとんどがこれまで刑余者支援に携わった経験がなく、興味を持って聞いていただきました。刑余者支援には地域の方々の協力と理解が欠かせません。今後も様々な方の協力を得ながら、より良い支援に繋げていけるよう普及啓発活動を行っていきたく思ひます。



編集 後記

春は別れと出会いの季節です。済生会熊本福祉センターでも3月は職員や利用者、子ども達との別れがあり寂しい気持ちを感じていました。4月になると今度は希望とやる気が満ちた職員や利用者、目を輝かせている子ども達と出会い、新たな気持ちが湧き出ています。広報委員会におきましても、次回の号から新しいメンバーでの記事や校正になります。更に広報誌「すまいるん」が皆さまの楽しみの1つとなるよう引き続き頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

広報委員会 中川路

発行所 / 済生会熊本福祉センター
発行責任者 / 宮川 栄助
編集 / 広報委員会 (委員長 五瀬 浩) <https://www.sk-fukushi.jp/>
熊本市南区内田町3560-1 TEL.096-223-3330 FAX.096-223-3429

